

9月は「認知症月間」です

北九州市では、9月の1カ月間を「認知症月間」と定め、認知症に対する理解と知識の普及・啓発に取り組んでいます。

●認知症ブックフェア

市内の協力書店や協立大学図書館、市立図書館で、認知症に関する書籍を集めた特設ブースなどを設置します。また、協立市民センターでは、認知症に関するリーフレットを配布します。9月1日(月)～30日(火)。



●講座「認知症にやさしい図書館」

認知症に関する講話や本の紹介などを行います。

- ・門司図書館(門司区老松町、☎321・6515) 9月7日(日)10～12時。定20人。
- ・八幡図書館(八幡東区尾倉二丁目、☎671・1123) 9月21日(日)14～15時30分。定30人。

北九州市で梅毒の報告が増加しています

男性では20～50代、女性では20代の梅毒患者が増加しています

梅毒は、性的な接触など、他人の粘膜や皮膚と直接接触することによって、梅毒トレポネーマという病原菌に感染する病気です。感染すると全身にさまざまな症状が現れ、進行すると神経障害や心血管障害を引き起こします。

梅毒の怖さについて

- ・感染力が非常に強い(1回の性行為でも高い確率で感染する)
- ・粘膜や皮膚の小さな傷からも感染する(病変部位が口であれば、キスでも感染する)
- ・症状が一時的に落ち着くことがあるが、内部では病気が進行している可能性がある

小倉南図書館(小倉南区役所横、☎952・4511) 9月28日(日)13～15時。定30人。
共通申し込みなど詳細は各図書館へ問を。

●オレンジ色にライトアップ

9月21日(日)の「認知症の日」に合わせて、小倉城や鶴外橋、小倉駅新幹線口ハイポール、モノレール平和通駅舎下、黒崎駅ペDESTリアンデッキを認知症支援のイメージカラーであるオレンジ色にライトアップします。



▲詳細はコチラ

問保健福祉局認知症支援・介護予防課 ☎582・2063

妊娠している人が梅毒に感染すると、胎盤を通して胎児に感染し、死産、早産、新生児死亡、奇形を起こす可能性がある

検査について

性感染症は誰でもかかる可能性がある病気です。皮膚や粘膜に異常があった場合は性的な接触を控え、早めに医療機関(皮膚科・泌尿器科・産婦人科など)を受診して相談しましょう。また、北九州市では定期的に無料の匿名検査を行っています。

梅毒は、診断を受けて正しく薬を飲めば治すことができます。感染の不安があれば検査を受けるようにしましょう。



▲無料匿名検査の詳細はコチラ

問保健福祉局保健企画課 ☎522・5721

市政フラッシュ

このコーナーでは、北九州市の最新の取り組みや話題の出来事などをご紹介します。

台湾・高雄市と連携強化に関する協定を締結しました!

7月1日、武内市長は台湾の高雄市を訪問し、陳其邁市長と会談を行いました。両市長は「都市間の連携強化に関する協定」に署名し、さらにスポーツ分野における友好交流を促進するため「北九州マラソンと高雄富邦マラソンとの友好交流に関する覚書」も締結しました。

高雄市は、人口約274万人と台湾を代表する大都市であり、観光、エンタメ、サステナブルなどをキーワードに経済文化両面での関係を強化していくことで、両市のさらなる成長につなげるとともに、「グローバルマーケットで稼ぐ都市間連携」という新たな都市間連携モデルを世界に提示していきます。



▲武内市長と陳其邁・高雄市長

問政策局国際政策課 ☎582・2146

ラグビー・ウェールズ代表が6年ぶりに北九州市へ!

7月5日、北九州市でラグビー男子日本代表対ウェールズ代表のテストマッチが開催されました。

令和元年のラグビー国際大会の事前キャンプから交流を続けてきたウェールズ代表が6年ぶりに戻ってくるといふことで、駅や商店街に歓迎ポスターが掲げられたり、選手が小倉祇園太鼓の練習に参加する交流プログラム



が実施されたりと、試合前から市全体が歓迎ムード一色でした。



試合当日は、会場が両チームのカラーである赤色で埋め尽くされました。試合は日本代表の逆転勝利で幕を閉じましたが、1万km弱の距離を越えて結ばれた「赤い糸」の絆を、改めて確かめ合えた試合となりました。

問都市ブランド創造局スポーツ振興課 ☎582・2411

※広告の申し込みは、福岡県福岡市東区東区役所〒815-8501 072-6668-3275まで。

